

令和 7 (2025) 年度栃木県普及指導活動外部評価結果

| 項目 | 視 点 | 評価 | | |
|--------------|---|----|---|---|
| | | A | B | C |
| 事務所名 | 那須農業振興事務所 | | | |
| 評価対象事例名 | 新規就農及び営農支援体制の確立（産地が一丸となった新規就農希望者受入れ体制の構築） | | | |
| 取組の背景・ねらい | 1 現状や問題についての分析は十分か | 5 | 1 | 0 |
| | 2 問題点に対し、適切な課題が設定できているか | 4 | 1 | 1 |
| | 3 施策に合わせた目標を設定しているか | 3 | 3 | 0 |
| 活動対象・活動内容の照会 | 4 活動対象の選定は適切か | 3 | 3 | 0 |
| | 5 課題や活動対象に対し、活動方法は適切か | 3 | 2 | 1 |
| | 6 市町・JA 等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか | 4 | 2 | 0 |
| | 7 活動は計画的かつ効率的に実施されているか | 4 | 2 | 0 |
| | 8 農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか | 5 | 1 | 0 |
| 活動の成果・今後の対応策 | 9 実績に対する要因分析がされているか | 5 | 1 | 0 |
| | 10 残された課題について検討されているか | 1 | 4 | 1 |

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A：良好である B：普通である C：不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A～Cを評価した外部評価委員数を表している。

外部評価委員の意見

【現状や問題についての分析は十分か】

- 担い手不足は重要な課題であるが、親元就農、新規就農のどちらがどのように不足しているのかの分析が不足。
- 高齢化に伴う農業従事者の減少と人材確保策は喫緊の課題である。

【問題点に対し、適切な課題が設定できているか】

- 研修体制不整備が担い手不足の原因といえるのかが不明瞭。
- 意欲ある新規就農者をどうサポートしていくのかも大きな課題になっている。その点を踏まえている。

【施策に合わせた目標を設定しているか】

- 数字の算出根拠については報告あったが、適切であるかの判断ができなかった。
- 新規就農者、研修生の確保ともに目標を設定している。

【活動対象の選定は適切か】

- 既存研修プログラムが存在する中で協議会が必要だったのかが不明瞭。
- 離農者も含め今後の対策に生かす試みも可能なら行ってほしかった。

【課題や活動対象に対し、活動方法は適切か】

- 既存研修プログラムが存在する中で協議会が必要だったのかが不明瞭。
- 「新規就農支援協議会」を立ち上げるなど問題意識を持った活動に取り組んでいる。

【市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか】

- 個別自治体の独自プログラムとの調整などについては評価できるが、そもそもバッテリーしない事業が必要ではなかったか。
- おおむね適切に連携している。

【活動は計画的かつ効率的に実施されているか】

- 目標にむけて、何をどこまでやるのかといった計画などが不足していたのではないかな。
- 研修制度の充実に向け、農業未来塾と実地研修の「ハイブリッド型」などに努めていた。

【農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか】

- 実地研修受け入れ農家などとの信頼関係構築は十分。
- 青年新規就農者を令和6年までの4年間で92人確保できた。

【実績に対する要因分析がされているか】

- 相談件数に対して実績が不十分な理由に関する要因分析として初期費用、労働市場環境などの分析はできていた。
- 新規就農支援協議会を核とした研修プログラムなどが整備されている。

【残された課題について検討されているか】

- 実績未達の要因に対する対策の検討が不足しているように見受けられた。
- 新規就農者をどう定着させていくのか、収益をどう確保するのか具体的な方策を示してほしかった。

【総合コメント】

- 新規就農者がはじめの一步をスムーズに踏み出すための支援体制が整えられている。就農後も継続的なアフターケアに力を入れて取り組んでほしい。
- 日本の農業は、高齢化と後継者不足が長年の課題であり、農業の担い手不足は深刻な状況にあります。また、新規就農者の確保が重要な課題ともなっている。この様な中、新規就農者の普及指導活動がなされ、それらをテーマとした発表は大変良かったと感じた。
- 農林水産省の2025年「農林業センサス」によると、本県の基幹的農業従事者はこの5年間で21.8%減の3万3千人強に落ち込んだ。本県に限らず全国共通の課題だが、地道な活動と斬新な発想で新たな地平を切り開いてほしい。
- 地域連携により地域一丸での研修体制の整備は素晴らしい。新規就農や人材の確保・育成は大きな課題だが、地域産物や酪農を絡めて活動がなされていて良い。配布された「那須地域で農業を始めよう！！」の冊子がとても分かりやすいものだった。